

編集 後記

わが国の大学における公衆衛生教育の内容は、主要死因の変遷とともに変化してきたといえましょう。これからの研究においては、健康寿命の延伸やQOLの向上に関する研究も重要になるといわれていますが、それぞれの生活習慣病について、効果的な健康行動を具体的に国民に示すための研究も必要となってきています。また、地道な公衆衛生的調査研究の積み重ねがエビデンスを生み、予防対策へとつながっていきます。そこで、公衆衛生教育においては、社会の期待にこたえられるように、公衆衛生の基本的知識は十分にもつようにしながら、新しいエビデンスを示すことも必要であるといえましょう。本号には、保健師の大学教育と卒後教育の話題を取り扱った公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会活動報告が掲載されていますので、是非読んでいただきたいと思ひます。(青木伸雄)

次号予告 (第52巻・第8号)

原 著

- 特別養護老人ホームにおける身体拘束と施設特性の関連についての分析……………岸田研作, 他
 新築・改築小学校における室内空気汚染と児童の健康影響実態調査……………由良晶子, 他
 抗癌剤取扱い看護師の職業性曝露に関する認識と安全行動……………石井範子, 他

公衆衛生活動報告

- 結核対策における地域ベースの結核菌 RFLP 解析の意義……………大島律子, 他

資 料

- 看護系大学, 短大専攻科, 専修学校別の保健師養成について—教員と学生の保健師活動の認識等の実態調査を基にして—……………平野かよ子, 他

日本医学会では、下記のとおり、公開フォーラムを開催いたしますので、お知らせ致します。多くの方々の参加を期待します。

第1回日本医学会公開フォーラム

医学・医療の今—がんに挑む (シリーズ1)

日 時： 平成17年10月8日(土) 13:00~16:00
 場 所： 日本医師会館 大講堂
 〒113-8621 文京区本駒込2-28-16
 TEL 03-3946-2121 (代)

参加費：無料

参加方法(3方法)：FAX はがき 日本医学会ホームページ登録(記入項目：氏名 住所 職業)

入場券：参加申し込み後、10日以内に本会より送付します。

締め切り：先着500名(500名に達した場合には、入場券は送付いたしません)

問い合わせ先：日本医学会 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内

電話：03-3946-2121 (代) FAX：03-3942-6503

URL：<http://www.med.or.jp/jams/>